

教育備品が寄贈されました

11月30日、地方創生私募債（みらいはぐくみ債）を活用したアイケイ商事株式会社（代表取締役社長坂本真吾・神崎町在住）と株式会社千葉銀行小見川支店より神崎小学校へミシン2台が寄贈されました。

両社のご厚意に感謝し、学校教育の振興に有効活用させていただきます。



贈呈式（写真左より）石橋町長、神崎小一級田校長、アイケイ商事坂本社長、千葉銀行小見川支店福島支店長

敬愛大学と 教育活性化に関して協定締結

12月14日、敬愛大学（三幣利夫学長）と神崎町は、教育分野での充実を推進するため、教育活性化に関する連携協定を結びました。

本協定では、小中学校に大学生を派遣していただき小中学校の英語教育の充実を図るとともに、大学教授による出前授業など生涯学習の機会提供に寄与することを目的としています。

今後、相互に持つ知見と経験を活かし、地域社会の発展及びグローバルな人材育成を図ることが期待されています。



協定を取り交わした敬愛大学三幣学長と石橋町長

花酔の里 NEWS

～神崎町ならではのおせち（表紙写真）について～

今月号の表紙は、神崎町ならではのおせちです。今では全国各地のおせちが手軽に食べられるようになりましたが、昔から神崎に伝わる地味だけれど「地味」あふれるごちそうとして、お正月には欠かせないものでした。ご年配の方には懐かしく、若い方にとっては新たな発見としてどうぞご覧ください。

・お雑煮

地方によってかなり特色の出るお雑煮ですが、神崎町にとって切り昆布は昔から伝わる具材のひとつです。

・鮎のこぶ巻き

地元ならではの川魚「鮎」を焼き、こぶ巻きにして煮たものです。

・鮎の煮物

なべ底に大根を敷き詰め、焼いた小鮎と一緒に煮たものです。

・かいそう

海藻（ツノマタ）をよく煮とかして固めたものです。醤油や七味をかけて食べます。

お雑煮
鮎のこぶ巻き
鮎の煮物
かいそう

